

人体科学 既刊号 目次

人体科学 第 29 巻第 1 号 (2020 年 7 月 15 日発行)

【原著】

古井 秀法 ICT を利用した坐禅の遠隔指導に関する実践研究

長谷川 幹子

病いにより苦悩する神経難病患者と関わる看護師のありようの探求

— 注入食中止の意思を表明した患者と関わった看護師の体験に着目して —

【評論】

大門 正幸

「胎内記憶」とそれに関連する言説をめぐって

～感情的な反発から理性的で建設的な提案へ～

桑野 萌

湯浅泰雄における比較思想研究 超文化哲学のカギとしての身体と超越

【研究ノート】

松本 貴至

実務世界における人間研究の重要性について

【学会通信】

投稿について

湯浅泰雄賞

2019 年度人体科学会第 1 回理事会

2019 年度人体科学会収支予算案

2019 年度人体科学会会員総会議事録

「人体科学」投稿について (2020 年版)

人体科学 第 28 巻第 1 号 (2019 年 7 月 15 日発行)

【原著】

大門 正幸

魂の不死性に関する哲学的考察～死後存続仮説に関する議論を中心に～

長谷川 幹子, 小林 道太郎

「患者の苦悩」の概念分析

林 昌子

キリスト教における輪廻転生思想 – 実存論的神学の立場から

【研究ノート】

田中 実

心包・三焦の謎解きと祈り・祭祀に果たす役割

【学会通信】

「人体科学」投稿について

湯浅泰雄賞

サロン活動報告

【事務局通信】

人体科学 第27巻第1号 (2018年7月23日発行)

【原著】

諸 昭喜

韓方医学における疾病の社会的構築：産後風を事例として

大門正幸

子供が語る胎内記憶によって誘発された霊的変容体験

【評論】

伴 義孝

大島鎌吉のスポーツ思想に学ぶ (5) —理念「オリンピズム」の探求という視点において—

【研究ノート】

須田 斎

「生命 (いのち)」を東西の進化理論から深める

【学会通信】

サロン活動報告

いのちの医療哲学研究会 2016年度報告書

いのちの医療哲学研究会 2017年度報告書

手技療法研究会 2017年度報告書

気功の可能性を考える会 2017年度報告書

魂の存在を科学する研究会 2017年度報告書

【事務局通信】

「人体科学」投稿について

人体科学 第26巻第1号 (2017年7月31日発行)

【原著】

市川きみえ

「プライベート出産」体験者の医療との接点

船木祝

孤独圏と共同体

【評論】

伴 義孝

大島鎌吉のスポーツ思想に学ぶ(4) —レクリエーション運動という視点において—

【研究ノート】

須田 斎

「老い」は、身体を介して個性化の基盤となる—「生物学的いのち」と「心的いのち」の接点—

【国内外の研究動向】

堀田忠弘

癌の原因と対処法を「いのち」の視点で考える

内田匠治

鍼灸(東洋医学)の境界領域へ向けて—人間の能力と東洋医学の臨床—

【学会通信】

人体科学会第26回大会報告

人体科学会2016年度夏期合宿報告

サロン活動報告

魂の存在を科学する研究会 2016年度報告書

手技療法研究会 2016年度報告書

日本の気功—その過去・現在・未来を語る—人体科学会第26回大会会員企画セッション報告

【事務局通信】

「人体科学」投稿について

人体科学 第25巻第1号(2016年5月30日発行)

【巻頭言】

倉澤幸久

人体科学会会長に就任して

【原著】

大門正幸

同一家族内における生まれ変わり型事例

船木祝

弱い立場の人々を支える社会の倫理についての一考察—「強さの倫理」と「弱さの倫理」—

竹谷美佐子

舞踊の稽古における身体的施行。身体イメージの再構成を手がかりとして。

【評論】

伴 義孝

大島鎌吉のスポーツ思想に学ぶ(3) —身体の対抗文化という視点において—

【研究ノート】

市川きみえ

流産、死産にまつわる共時性体験の語り

原 敬昌、渡邊勝之

ストレスを伴った頭痛患者に対する鍼治療の一症例

吉井秀法

ビデオ通話システムを利用した座禅の遠隔指導についての研究

【国内外の研究動向】

小久保秀之

超心理学研究の最近の動向—2015年の転回点

田中彰吾

拡張した心を超えて

鮎澤 聡

生体の秩序性と水

【書評】

棚次正和

身心二元論の彼方へ—書評：黒木幹夫・鎌田東二・鮎澤聡編『身体の知—湯浅哲学の継承と展開』

【事務局通信】

人体科学 第24巻第1号(2015年5月30日発行)

【巻頭言】

鮎澤 聡

人体科学会設立 25 周年を迎えて

【原著】

杉本 耕一

湯浅泰雄と西田幾多郎—「哲学」と「宗教」とを問い直す視座

【評論】

渡邊 勝之

いのちの医療哲学事始め

—始原東洋医学の立場から澤瀉久敬の『医学概論』を再考する—

伴 義孝

大島鎌吉のスポーツ思想に学ぶ（2）

—生き方の創造という視点において—

渡邊 学

パウリとユングの関係について

—往復書簡集の前景と背景—

【研究ノート】

原 敬昌、渡邊 勝之

始原東洋医学に基づく鍼灸治療とセルフケアの実践

—頭痛を主訴とし多愁訴を有する患者の 1 症例—

片淵 美穂子

平野重誠における丹田観

【国内外の研究動向】

村川 治彦

実践と理論の循環および学問と日常生活の架橋に向けて

桑野 萌

スペインにおける湯浅泰雄論

大門 正幸

意識の死後存続研究の新たな展開

【書評】

定方 昭夫

坂出祥伸著『響きあう身体-「気」の自然観・瞑想法・占術』

【事務局通信】

人体科学 第23巻第1号 (2014年5月30日発行)

【巻頭言】

鮎澤 聡

改めて「人体科学会」について

【特別寄稿】

Shigenori NAGATOMO

Mind-Body Correlativity

【総説】

大門 正幸

脳還元論から脳濾過装置理論へ

【原著】

伊東 明宏・金 ウンピ・清水 武・元嶋 菜美香・坂入 洋右

剣道の構えにおける筋緊張部位の違いが反応動作に及ぼす影響

河合 翔

脳性麻痺による身体運動の現象学的考察－メルロ＝ポンティの身体図式から生まれる当事者研究

【報告】

渡邊 学

今日のスピリチュアリティの一側面－カトリックと禅の邂逅をめぐって－

【評論】

大橋 健二

日本人の「旅」における身体論的考察

伴 義孝

大島鎌吉のスポーツ思想に学ぶ－脱近代化志向の身体文化という視点において－

【問題提起】

猪熊 兼年

新四国曼荼羅霊場について－祟国八十八カ所と新たな霊場開創の動き－

【事務局通信】

人体科学 第22巻第1号 (2013年5月30日発行)

【原 著】

永沢 哲

太陽と月の和合

—チベットのヤントラヨーガー—

井出 亮、早水 丈治、渡邊 勝之

強力反応点（灸店、禁灸点）のもつ電気特性の検討

【資料】

奥野 元子

ストレス関連疾患に対する瞑想の有効性についてのレビュー

【報告】

鮎澤 聡

偏光顕微鏡を用いた生体の秩序性の光学的観察

早水 丈治、井出 亮、渡邊 勝之

シビレと痛みに対する主観的評価と客観的評価の検討

—VASおよび Pain Vision と MeurometerCPT/C の比較—

【評論】

大橋 健二

日本文化における「受動性」についての考察

—日本武道と「絶対受動」

杉岡 良彦

医療におけるパラダイムシフト

—デカルト・ニュートンモデルは根拠に基づく医療によって克服されたのか—

岡 千春

修行としての舞踊と場

【研究ノート】

桑野 萌

ペドロ・ライン=エントラルゴの身体論を巡って

—ペドロ・ライン=エントラルゴにおける心身の一体制とダイナミズム的宇宙論の思想的背景について

【事務局通信】

人体科学 第21巻第1号（2012年5月30日発行）

【巻頭言】

山折 哲雄

3.11 の災害と 2 つの物語

【総 説】

竹中 恵美、細谷 律子

個別的なエネルギーを捉える、ホメオパシーの Sensation Method

—「7つの経験レベル」の概念による現象学的精神心理学的把握・理解の提案、ユングからの考察—

【原 著】

大門 正幸

「過去生の記憶」を持つ子供について—インド人としての記憶を持つ日本人女兒の事例—

石賀 周一、渡邊 勝之

納梗塞後遺症による感覚異常を主訴とした患者に対する始原東洋医学に基づく鍼灸治療の有効性の検討

—N-of-1trial による反応点と局所反応点との比較—

船木 祝

家族等の死についての哲学的考察

—人間関係から見たグリーフケア—

【報 告】

金子 武良

うつ病に対する指圧の効果

【海外だより】

王 滬生

時に過去を振り返り、未来を創造する

—中国人体科学の発展過程—

【事務局通信】

人体科学 第 20 巻第 1 号 (2011 年 6 月 4 日発行)

【講演】

身体性に生起する理解：体験過程としてのフォーカシング

西村 ヲミ

暗在としての<からだ>

池見 陽

【原著】

脳梗塞後遺症によるシビレを主訴とした患者に対する始原東洋医学に基づく鍼灸治療の有効性の検討：N-of-1 trial による反応点と経穴との比較

石賀 周一, 渡邊 勝之

「過去生の記憶」を持つ子供について：日本人児童の事例

大門 正幸

人体近傍のヒーリングパワーのポテンシャル分布：ガス測定法による生物物理学的研究

小久保 秀之, 高木 治, 小山 悟史, 根本 泰行

『莊子』における死生の超越：内篇を中心として

寺西 光輝

【報告】

睡眠障害および不定愁訴に対する鍼灸治療の1症例

金野 彰子, 渡邊 勝之

【評論】

四国遍路におけるメタファー思考について

大賀 睦夫

湯浅泰雄『身体論-東洋的心身論と現代-』再考

倉澤 幸久

非人称的視点：スピリチュアリティを記述するためのメタ方法論

甲田 烈, 尾崎 真奈美

【事務局通信】

人体科学 第19巻第1号 (2010年5月30日発行)

【巻頭言】

鮎澤 聡

人体科学会会長に就任して

【総説】

伴 義孝

身体文化学 of 構想

松田和郎

意識とは何か — 意識障害治療と神経解剖学研究の現場から —

【原著】

永沢 哲

タントラ、脳科学、死 — タントラ仏教と自己変容のパラダイム —

奥井 遼

「開かれた身体」を求めて — 嘉納治五郎と植芝盛平の身体観を手がかりに

—

市川きみえ

神秘的な出産体験からみた生命誕生における靈魂のむすび — 平田篤胤の産靈神

思想に基づいて —

田中彰吾、小河原慶太

身体知の形成 — ボールジャグリング学習過程の分析 —

金野彰子

唾液酸化還元電位の日内変動と月内変動に関する検討

嶋田 晃、佐藤貴恵、渡邊勝之

— 鍼灸臨床における客観的評価法の確立を目指して —

【報告】

槇野芳典

武道の文化的価値に関する一考察

【評論】

菅原 浩

微細エネルギーと形相性の問題（2）— spirit の新しい概念のために —

【事務局通信】

人体科学 第18巻第1号（2009年5月30日発行）

【原著】

田中 彰吾

心理的身体と身体知 — 身体図式を再考する —

船木 祝

ターミナルケアにおける意思決定のあり方 - 「自律」か『相互依存か』 -

渡邊 勝之、篠原 昭二

鍼灸施術が唾液と尿に及ぼす影響—唾液アミラーゼ活性および酸化還元電位と水素イオン濃度を指標とし

て—

苗 鉄軍、佐々木 茂美

念写の進行家庭のカオス解析

【資料】

香曾我部 琢

保育者に求められる身体-身体の共振と好意的直観-

【報告】

藤村 修央

ヘバーデン結節に対する反応点を用いた鍼治療 4 症例

班目 健夫、田中 朱美

気診治療が有効であった 2 症例

【評論】

野村幸正

「気流れる身体」から認知科学への提言

菅原 浩

微細エネルギーと形相性の問題(1) -spirit の新しい概念のために-

【実践報告】

佐藤 克巳

身体と方角

【事務局通信】

人体科学 第 17 巻第 1 号 (2008 年 6 月 30 日発行)

【特別寄稿】

小林 登

胎児・新生児の「動き」から「心と体」の関係を考える—母子間のエントレインメントを含めて—

【原著】

菅原 浩

霊性哲学の表現としての普遍神学の構想

渡邊勝之、篠原昭二

針刺激が表皮局所に及ぼす影響—酸化還元電位および水素イオン濃度を指標として—

吉永進一

太霊と国家—太霊道における国家観の意味—

【報告】

本田恭子、森本恵子、朝山正己

スポーツ専攻学生のボディ・イメージの男女比較

【評論】

倉澤幸久

「生ける自然」を巡って

【事務局通信】

人体科学 第16巻第1号 (2007年8月30日発行)

【特別掲載】

湯浅泰雄

共時性からスピリチュアリティへ

【原著】

吉永進一

精神の力ー民間精神療法の比較論的研究

本多恭子、水上戴子、朝山正己

体育専攻女子学生のボディイメージの特徴について

【資料】

香曾我部琢

舞踏家の発話・行為の分析による保育者の資質向上への新たなる視座

【報告】

吉福康郎、唐沢康弘

「太極拳無形塾」池田秀幸師範の技について

須田利昭、北村幸郷、鈴木正弘

医療気功ASTの難病2症例に対する臨床効果

大島櫻彩

植物エネルギーによる心理的变化ーフラワーエッセンスを用いた心理療法の効果測定ー

【評論】

柴真理子

舞踊運動の体感研究と身体心理学

唐澤太輔

南方熊楠と共時性に関する一考察ー「事」、「心的水準の低下」、「奇跡の元型」を中心にー

【大会報告】

定方昭夫

人体科学会 第 16 回大会報告記

定方昭夫

国際サイコセラピー会議イン・ジャパンおよびアジア国際サイコセラピー会議でのワークショップ報告

【事務局通信】

人体科学 第 15 巻第 2 号 (2006 年 10 月 30 日発行)

【特別寄稿】

丸山敏秋

湯浅泰雄先生の回想と業績

【原 著】

吉永進一

原坦山の心理学的禅：その思想と歴史的影響

田中彰吾

シンクロニシティの記号論 —ユング理論の新たな展開—

原田純子

外に向けて拓かれていく身体と心 —創造的身体表現活動の価値を考える—

【報 告】

吉福康郎、唐沢康弘

大東流合気武術師範木村達雄の「合気」の技について

【評 論】

唐澤太輔

「非言語的な知」に関する一考察 —暗黙知、tact、内念の比較—

斎藤忠資

臨死体験における時空の相対性

【書 評】

坂出祥伸

目幸黙僊・黒木賢一編『心理臨床におけるからだ 心身一如からの視座』

【事務局通信】

河野貴美子 人体科学会アンケートへのご協力ありがとうございました

人体科学 第 15 巻第 1 号 (2006 年 5 月 30 日発行)

【巻頭言】

田中朱美

湯浅先生を偲ぶ

【総 説】

小高修司

人間性回復のために ―中国医学からの提言―

【原 著】

寺西光輝

万物・気・道―老子の身体と宇宙―

【資 料】

吉田勝志、吉福康郎

自律神経系に及ぼす気功 手 (スワイショウ) の効果

【実践報告】

岡田正彦

セルフヘルプグループとのコラボレーションの試み

【評 論】

大井 玄

世界仮構についての一考察―認知症と対比して―

【大会報告】

黒木幹夫

人体科学会第 15 回大会報告記

【事務局通信】

人体科学 第 14 巻第 2 号 (2005 年 11 月 30 日発行)

【原 著】

北村幸郷、早川博康、岡本武司、嘉村亜希子、須田利昭、鈴木正弘

医療気功 AST が癌細胞における熱ショック蛋白 (HSP70) の発現に及ぼす影響―消化器癌
における病理組織学的検討―

【報 告】

松岡伯菁

価値的情報の伝達における一定の周回性について

中村元信、堀尾保次、万井正章、小笠原耕

QRS を用いた生体共鳴療法における気の認知について—気功治療との比較検討—

【評 論】

吉福康郎

武術家甲野善紀の技のバイオメカニクスの解明

人体科学 第 14 巻第 1 号 (2005 年 5 月 30 日発行)

【総 説】

沈 再文

気功・外気治療法の歴史とその研究の発展

【原 著】

高橋和子

「からだ気づき」教育の構想と展望

【評 論】

吉福康郎

宗教に「真理」性を認められるか —宗教は脳の幻想あるいは単なる思想か?—

齊藤忠資

五次元界モデルと超意識体

野村幸正

なめらかな動きと心一体性と行為の理論—

前田 豊

人間の潜在能力と不思議現象発現について (2)

岡田正彦

スウェーデンボルグの世界観の宗教心理学的—考察

【報 告】

倉澤幸久

人体科学会第 14 回大会報告記

【事務局通信】

人体科学 第 13 巻第 2 号 (2004 年 10 月 31 日発行)

〈総 説〉

小高修司

「不安」概念の歴史的変遷 —中国（医）学の文献的考察による—

〈原 著〉

日下 裕弘・海老原宏美

遊戯世界における身体 —「光るどろだんごづくり」を事例に—

〈資 料〉

中永 真吾

現代剣道の自然体とバレエの足の position における「共通性」について

〈解 説〉

北村 幸郷・神谷 信行・鈴木 正弘

医療気功 AST の治療効果

〈評 論〉

久保田 亮

二十世紀フランス文化における身体観の考察

—身体の相対化と復権—

〈事務局通信〉

2003 年度収支決算書、2004 年度収支予算書（案）

公開講演シンポジウムのお知らせ（2004 年 11 月 13 日開催）

人体科学 第 13 巻第 1 号（2004 年 5 月 31 日発行）

〈巻頭言〉

田中朱美

人体科学会会長に就任して

〈原 著〉

渡邊勝之・篠原昭二

東洋医学の創造的再編成の方向性—東洋医学原論の構築に向けて—

嘉村亜希子・北村幸郷・須田利昭・鈴木正弘

潰瘍性大腸炎に対する医療気功 AST 治療の併用による臨床効果—難治性症例へのアプ

ローチについて—

〈報 告〉

安田忠典

人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム 2003

〈評 論〉

池田士郎 からだのコスモロジー —中山みきの身体観—

〈第 13 回大会報告〉

北出利勝・渡邊勝之 人体科学会第 13 回大会報告記

〈事務局通信〉

2003 年度事業報告、2004 年度事業計画案、新役員一覧、第 14 回大会の案内、
「人体科学」投稿について

人体科学 第 12 巻第 2 号 (2003 年 10 月 31 日発行)

〈原 著〉

土屋 久 富士谷御杖の「心」と「身」—神道的人間観と自他のつながり—

伊藤智子・沈 再文・伊藤康宏・丸山一皓・Volker Burkart・朝山正己

糖尿病発症の NOD マウスに対する気功外気の影響

陳 偉中 光トポグラフィによる発気課題時の脳血液量変化の研究

〈報 告〉

安田忠典・巖美稚子・田村典子・中川昌幸 気功を用いた体育授業の一例

—関西大学スポーツ研究「東洋身体技法気功のワーク」の実践報告

〈評 論〉

前田 豊 人間の潜在能力と不思議現象発現について

〈事務局通信〉

2002 年度収支決算書、2003 年度収支予算書 (案)、人体科学会第 13 回大会案内、
「人体科学」投稿について

人体科学 第 12 巻第 1 号 (2003 年 5 月 30 日)

〈総 説〉

沈 再文 「気功」その歴史と現代医学における役割

〈原 著〉

高橋和夫 鈴木大拙の「靈性」の概念について

安田忠典 南方熊楠の変態心理学—那智隠栖期を中心として—

延 恩株 韓国のシャーマニズム—史的概観とムーダンの成巫過程—

〈報 告〉

佐野紀江・北村幸郷・小島一詔・鈴木正弘 アストカイロ(AST)気功が脳内出血に及

ぼす

治療効果

〈評 論〉

吉福康郎 知性のみで「生きる意味」が捉えられるか

〈第 12 回大会報告〉

春木 豊 人体科学会第 12 回大会を開催して

〈事務局通信〉

2002 年度事業報告、2003 年度事業計画（案）、人体科学会会則、

人体科学会第 13 回大会案内、「人体科学」投稿について

人体科学 第 11 巻第 2 号（2002 年 10 月 31 日発行）

〈総 説〉

湯浅泰雄 科学・人間性・倫理（その 2）

〈原 著〉

劉 超・町 好雄 呼吸指数による養生気功の腹式呼吸の評価

〈資 料〉

北村幸郷・嘉村亜希子・鈴木正弘 アストカイロ(AST)気功が癌細胞におけるベータ型
トランスフォーミング増殖因子タイプ I 受容体の発現に及ぼす影響

〈評 論〉

園部長雄 仏教理論物理学—試論—

斎藤忠資 脳死と臨死体験の記憶

鎌田洋二 重症心身障害児者の療育を考える—スピリチュアルな関係論から—

〈事務局通信〉

2001 年度収支決算書、2002 年度収支予算書（案）、人体科学会第 12 回大会について、

「人体科学」投稿について

人体科学 第 11 巻第 1 号（2002 年 5 月 31 日発行）

〈総 説〉

湯浅泰雄 科学・人間性・倫理（その 1）

〈原 著〉

北村幸郷・嘉村亜希子・鈴木正弘

アストカイロ(AST)気功が癌細胞のアポトーシスに与える効果 —消化器癌における病理組
織学的検討—

〈資料〉

北村幸郷・嘉村亜希子・鈴木正弘

アストカイロ(AST)気功が癌細胞の増殖活性および癌抑制遺伝子 p53 の機能発現に及ぼす影響

〈報告〉

佐野紀江・北村幸郷・鈴木正弘

アストカイロ気功を適用した延髄外側症候群による嚥下障害の臨床的効果について

〈評論〉

吉福康郎 新しいパラダイムに基づいた「安心立命」の科学を！

〈第 11 回大会報告〉

坂出祥伸 第 11 回大会の特色と今後の学会のありかた

〈事務局通信〉

2001 年度事業報告、2002 年度事業計画、検討委員会検討事項のまとめ

人体科学 第 10 巻第 2 号 (2001 年 10 月 31 日発行)

〈評論〉

菅原 浩 心的現実と想像界をめぐって—世界空間論への歩み—

〈原著〉

河野喜美子 脳波からみた香りの効果に関する検討—瞑想時の脳波と比較して—

屈 国鋒・浅見高明・加藤雄一郎

呼吸法の差異が丹田と重心位置に及ぼす影響

〈資料〉

柴田峻彰・北村幸郷・神谷信行・鈴木正弘

アストカイロ(AST)気功の握力に及ぼす効果

中村孝之・田中常雄・鈴木正弘

学童の視力低下に対するアストカイロ(AST)気功治療効果

〈事務局通信〉

人体科学会 2001 第 11 回大会案内

人体科学 第 10 巻第 1 号 (2001 年 5 月 31 日発行)

〈巻頭言〉

春木 豊 人体科学会の会長に就任して

〈総 説〉

湯浅泰雄 人体科学の将来を考える—科学方法論と無意識の心理学—

〈原 著〉

田中彰吾・湯浅泰雄 身体図式からイマジナル・ボディへ

〈資 料〉

高尾征治 ニューパラダイム弁証法と波動科学技術の相互依存的関係

〈評 論〉

吉福康郎 心と脳の関係、物質の謎、宇宙の意志を思わせる生命の誕生の精妙なる条件—生きる意味と希望を与える世界観確立のための論理的基盤—

〈事務局通信〉

2000 年度事業報告・収支決算、2001 年度事業計画・収支予算、
新役員一覧、第 11 回年次大会の案内

人体科学 第 9 巻第 2 号 (2000 年 10 月 10 日発行)

〈総 説〉

湯浅泰雄 人体科学の歴史と展望

〈原 著〉

北出利勝・篠原昭二・渡邊勝之・和辻 直・山本晃久・有馬義貴

AMI (経絡—臓器機能測定装置) と東洋医学的診断情報との比較検討 (その 3)

—健常者と患者との比較—

吉田勝志・吉福康郎・堀内道治

3 種類のヨーガ行法が経絡の皮膚電気伝導度および呼吸循環機能面に
及ぼす影響

〈資 料〉

日下裕弘 糖尿病の克服に関する事例研究……29

〈報 告〉

松岡伯菁 「価値的情報系」の存在を検証し、一定のレーザー機構によって、
この情報を送受信する実験報告

〈事務局通信〉

人体科学会第 10 回大会案内

人体科学 第 9 巻第 1 号 (2000 年 5 月 31 日発行)

〈総 説〉

伴 義孝 「生の哲学」から「生の体育」へ

〈原 著〉

高尾征治・瀬戸口早苗

弁証法的物神一元論に基づく暗黒物質の生命科学的探究

中村孝之・田中常雄・鈴木正弘

AST 気功が視力に及ぼす効果

吉田勝志・吉福康郎・小竹潤一郎

発汗が経絡の皮膚電気伝導度に及ぼす影響

浅見高明 武道における活法の効果

〈報 告〉

木戸眞美・青木 宏之 新体道における発生音「天真五相」の音声解析

〈資 料〉

千葉壽茂・嘉村亜希子・神谷信行・鈴木正弘

肺腫瘍に対するアストカイロ気功の効果

〈評 論〉

野村晴彦 現代の科学技術の善悪と人体科学

〈事務局通信〉

1999 年度事業報告・収支決算、2000 年度収支予算(案)

人体科学 第 8 巻第 2 号 (1999 年 10 月 30 日発行)

〈原 著〉

栗田昌裕 速読訓練を軸に展開する知的機能と体調の並行的改善

東 長人 皮膚電気診からみたヨガ前後の経絡系の変化

河野喜美子 連功過程における脳波の経年変化

樋口雄三・小谷泰則・樋口博信・峯岸由紀子・百瀬真一郎

坐禅時における免疫動態

〈評 論〉

渡辺恒夫 死生学探求(第 1 報)：出生への問いから意識科学の超難問へ

〈報 告〉

加藤隆吉 不定愁訴群とセックスストレス夫婦との関係

千葉壽茂・嘉村亜希子・神谷信行・鈴木正弘

大腸癌腹膜播種例に対する AST 気功と現代医学の併用による臨床効果
松岡伯菁 松果体部と「人指 O 環」が構成する「価値的情報系」の
存在可能性を示す実験成績

〈事務局通信〉

1998 年度事業・決算報告、1999 年度事業計画・予算案

人体科学 第 8 巻第 1 号 (1999 年 5 月 31 日発行)

〈原 著〉

小高修司 統合医学によるガン患者の癒し

高尾征治・野中美智子 臨死体験の新しい科学的哲学的解釈

吉福康郎・吉田勝志・青木孝志・足達義則

ヨーガの各種行法が握力に及ぼす効果—経験者の場合—

吉田勝志・吉福康郎・青木孝志・足達義則・堀内道治

3 種類の気功法が経絡の電気伝導度および握力に及ぼす影響

堀内道治・青木孝志・足達義則・吉福康郎・吉田勝志

指ピンチ力の指幅および指位置依存性

青木孝志・足達義則・鈴木昭二・堀内道治・吉福康郎・吉田勝志

脈像のコンデンサマイクのアタッチメント口径依存性

足達義則・青木孝志・吉福康郎・吉田勝志・堀内道治・鈴木昭二

EQR 装置が作るベクトルポテンシャルの検討

〈評 論〉

小野 暁 モノ・ココロ・カミ—科学革命の展望—

〈資 料〉

湯浅泰雄・村山芳昭 ある女性臨死体験者の心理的体験の記録(2)

〈報 告〉

池田士郎 第 8 回学術大会を終えて

〈事務局通信〉

人体科学会第 9 回大会案内他

人体科学 第 7 巻第 1 号 (1998 年 5 月 30 日発行)

〈原 著〉

青木孝志・足達義則・吉福康郎・吉田勝志

80kHz 水晶共振システムの波動による非健常者の自立神経興奮の
沈静・回復効果

吉田勝志・吉福康郎・青木孝志・足達義則

ヨーガの4種類の行法が握力に及ぼす効果

日下 裕弘 「湯治」の身体的意義

高尾 征治 新しい哲学的パラダイムと世界観

吉田勝志・吉福康郎・青木孝志・足達 義則

生体電気インピーダンスおよび握力に及ぼす軽度な自転車運動の影響

野村晴彦・柴 真理子・田中朱美

創作舞踊後における外気の変化の計測について

佐古曜一郎・本間修二

透視能力の誘発可能性

佐々木茂美・劉 慧宜・劉 易成・胡 風霞

無誘導コイルによる零磁場ならびにその蒸留水に与える影響

佐々木茂美・長 春生・劉 慧宜・胡 風霞・岩田 昇

無誘導コイルによる零磁場が受精鶏卵の孵化ならびに

初生雛の成長に与える影響

矢田部英正 日本の身体技法における「気」の扱いについて

—西洋的身体技法との比較において—

足達義則・木孝志・吉福康郎・吉田勝志・鈴木昭二

80kHz 水晶共振システムの発生する波動が水及ぼす影響の MNR 解析

樋口雄三・于 永昌・張 永祥・黒谷 恵・樋口博信

マウス癌組織に対する気功外気の影響

〈評 論〉

山口 創・春木 豊 Therapeutic Touch 研究の展望

渡部英機 インドの聖者サイババの超能力について—心霊研究者はこう考える—

黒木幹夫 『深い河』と身体論

菅原 浩 微細次元の身体とトランスパーソナル・パラダイム

坂出祥伸 中国の「気」と養生の思想

〈資 料〉

湯浅泰雄・村山芳昭 ある女性臨死体験者の心理的体験の記録(1)

〈報 告〉

定方昭夫 第7回学術大会を終えて
〈事務局通信〉

人体科学会第8回大会案内

人体科学 第6巻第1号(1997年5月30日発行)

〈原著〉

青木孝志 生命特性情報場が植物に与える影響をより高精度に
評価するための育種方法

佐々木茂美・劉 慧宜・劉 易成・胡 風霞・早川英雄・大木高伸
気功水の伝導率変化に及ぼす酸化還元電位の影響

吉田勝志・吉福康郎・足達義則・青木孝志
普及型(スメドレー式)握力計による握力値の握り幅・
習熟度依存性および日内変動の検討

榊原朋子・佐古曜一郎
色の生体特異感知に及ぼす対象の遮蔽状態の影響について

木戸眞美 特異能力発現に関する実験—手始め編—

野村晴彦・柴 眞理子・田中朱美
内気功および創作舞踊前後の気の変化の計測について

青木孝志・足立義則・吉福康郎・吉田勝志
80kHz水晶共振システムが発生する波動が脈派に与える影響

町 好雄・山本政則
気功の練功効果測定の一方法

鈴木正弘・神谷信行・小島国利・小島一詔
肩関節周囲炎に対するアストカイロ気功の治療効果

〈実験報告〉

佐古曜一郎・本間修二
透視についての一考察

奥平明観・齋藤友良・中倉 健
幻肢に関する実験研究

足達義則・青木孝志・吉福康郎・吉田勝志
80kHz水晶共振システムが発生する波動の生体効果の
サーモグラフィ—解析

〈資 料〉

佐々木茂美 ダイオードによる空間エネルギーの制御並びに光を
発生させる為の条件設定

新谷肇一・今津賀昭

精神的ストレスを解放する建築空間デザインに関する研究
—不知火病院・海の病棟の空間構成の評価—

〈評 論〉

近藤英男 「スポーツ曼荼羅」への道

伊藤真愚 人間の着衣と精神性—いのち・尊厳の姿とその応用(第二報)—

〈報 告〉

町 好雄 第6回学術大会を終わって

〈事務局通信〉

公開講演会および第7回大会案内等

人体科学 第5巻第1号 (1996年5月30日発行)

〈原 著〉

高橋和夫 スウェーデンボルグの臨死体験

阿内正弘 現代における根源神話

黒木幹夫 チベット仏教における死の理解

町 好雄 透視における人体の生理の研究

河野貴美子・櫛田浩平 同一個人による坐禅、気功、弓道の脳波の比較

佐々木茂美・苗 鉄軍 蓮華山及び入野谷の気場と太極図の関係

〈実験報告〉

佐古曜一郎・本間修二 透視の可能性について

小野朋子・佐古曜一郎・大関実・直井隆義 色に対する生体特異感知の可能性

青木孝志 80kHz 水晶共振システムが発生する波動が生体電気
インピーダンスに及ぼす影響

佐々木茂美・劉 慧宜・劉 易成・胡 風霞・梁 蔭全

梁蔭全気功師による東京—北京間の遠距離気功水実験

〈評 論〉

吉福康郎 現代物理学の描く自然像および現代物理学の基盤に対する再検討

山本健造 私の念写体験からの一考察

伊藤真愚 自然治癒力の原形—いのち・尊厳の姿とその応用(第一報)—
〈報 告〉

湯浅泰雄 第 5 回年次大会風景
〈事務局通信〉

公開講演会および第 6 回大会案内等

人体科学 第 4 巻第 1 号 (1995 年 5 月 30 日発行)

〈原 著〉

佐古曜一郎・大関実・直井隆義・小野朋子

生体特異感知の可能性について

青木孝志 80kHz 水晶共振システムが発生する波動の生体作用の特異例

木戸眞美 弓道におけるイメージ想起の計測

木戸眞美・佐藤眞志 気功で変化する意識状態の生体計測

柳田利昭・浅見高明・平井仁 立位姿勢における気を類推する動作の観察

〈資 料〉

佐々木茂美・苗 鉄軍 空間対極図を用いた外気の制御

鈴木正弘・神谷信行・谷生重晴・小島国利・羽鳥知樹

定本貴明・秋山博明・小島一詔・穴戸諄至・田中常雄

腫瘍に対するアストカイロ気功の臨床効果について

〈評 論〉

小高修司 中国医学から見た心身相関—臨床例を通して—

〈解 説〉

湯浅泰雄 臨死体験の討論をめぐる考察

〈事務局通信〉

第 5 回公開講演会および第 5 回大会案内等

人体科学 第 3 巻第 1 号 (1994 年 5 月 30 日発行)

〈原 著〉

城 俊幸 能面における神顕現の構造

—世阿彌における面の思想—

木戸眞美 単一短形パルス法で探る精神作用

—視聴覚刺激とイメージ想起—

鈴木正弘 他 9 名 慢性腎不全および高血圧症に対するアストカイロ法の臨床効果に
ついてⅢ. 透析患者および本態性高血圧症患者に対する気の効果

佐々木茂美 他 2 名 無誘導巻コイルによる水の電気伝導率の変化

佐古曜一郎 他 4 名 外気発功時における功能者と受け手の生体変化

酒井優造 他 1 名 電気サイデバイスによる人工外気の発生と制御

町 好雄 気功のメカニズム解明のための気功師の各種計測

〈実験報告〉

町 好雄 他 1 名 書のサーモグラフィによる一評価—光パルス励起法による書の温
度のダイナミック解析法—

河野貴美子 他 1 名 坐禅と静功の人体科学的計測—脳波解析の結果から—

〈評 論〉

カ石泰輔 近代科学と将来への展望

〈講 演〉

門脇佳吉 書道・パントマイム・能に一貫する「気の思想」

〈海外事情〉

湯浅泰雄 張震寰先生を悼む

〈書 評〉

マイケル・マリゼフスキー YUASA Yasuo, The Body, Self-Cultivation and ki-
energy.

trans. by Nagatomo Shigenori and Monte Hull, Albany, New York,

SUNY Press, 229pp. 1993

〈事務局通信〉

第 4 回公開講演会および第 4 回大会案内等

人体科学 第 2 巻第 1 号 (1993 年 4 月 30 日)

〈原 著〉

佐々木茂美 他 2 名 気功水の電導率変化から見た気の性質

小林泰樹 他 3 名 効能者の発功状態における指尖容積加速度脈派
ならびに経絡の動的電導率変化について

木戸眞美 経絡測定による気功の同調現象

沼田健裕 他 4 名 ストレス後の気功練習時における自律神経系および循環器系の動
態

柴真理子 他 1 名 精神病院入院中の患者に対するダンスセラピーの展開とその検討
平井 仁 他 2 名 坐位姿勢における臍下丹田と重心位置の関係
鈴木正弘 他 7 名 慢性腎不全および狭心症に対するアストカイロ法の臨床効果につ
いてⅡ. 気による血清 Cr 値の変化および狭心症の発作に対する効果

〈資 料〉

町 好雄 「気」のサーモグラフィによる研究

〈報 告〉

柏酒雅貴 二重盲検法による気功の人体科学的計測—(1)総論—

河野貴美子 他 2 名 二重盲検法による気功の人体科学的計測

—(2)脳波からみた受け手への影響—

野村晴彦 二重盲検法による気功の人体科学的計測

—(3)気功の伝搬性の非接触計測—

小林啓介 他 1 名 二重盲検法による気功の人体科学的計測

—(4)抹消血流量、皮膚の表面電位および経絡測定—

芝田高志 他 1 名 二重盲検法による気功の人体科学的計測

—(5)外気功に於る血液分析の 1 例—

定方昭夫 他 1 名 二重盲検法による気功の人体科学的計測

—(6)投影法による中国人気功師の人格力動—

〈評 論〉

松本 孚 健康概念の再検討—超越的健康論への道—

〈講 演〉

南 博 「気」と日本人

山折哲雄 身体の変容

〈海外事情〉

湯浅泰雄 中国の気功研究の状況

馮 広来 他 1 名 中国・天津大学における気功による癌治療の臨床報告

〈事務局通信〉

第 3 回公開講演会および第 3 回大会案内等

〈投稿規程〉

「人体科学」投稿規程

〈巻頭言〉

井深 大 「人体科学会」への期待

〈会長講演〉

門脇佳吉 世阿弥における気の思想

〈原 著〉

佐々木茂美 他 2 名 経穴の動的電導度に及ぼす金属と磁場の影響

町 好雄 気の計測

加藤 正 他 2 名 気功法の生理・心理的研究

浅見高明 他 2 名 立位姿勢における臍下丹田と重心位置の関係

柳田利昭 他 1 名 活元運動による体重配分の変化

C.B.Becker Mechanisms and Features of Religious Healing

鈴木正弘 他 6 名 慢性腎不全に対するアストカイロ法の臨床効果について

I. 特に気が血清 Cr 値降下に及ぼす影響

柴真理子 創作ダンスの学習と自己実現

前林清和 近世柔術伝書にみられる心身観

〈研究報告〉 気功師の人体計測班

河野貴美子 脳波からみた気功師の意識と受け手の状態変化

野村晴彦 無電極・非接触法による気の計測

小林啓介 経絡測定

〈評 論〉

牧 豊 人体科学の形成をめざして—医学からの提案—

佐々木茂美 人体科学の形成をめざして—工学からの提案—

前田繁男 「気」の科学化に期待するもの

〈解 説〉

青木宏之 「気」の放出感覚と感受能力を高め、人と人を結ぶ『瞑想組手』詳解

〈事務局通信〉

第 2 回大会案内他

〈投稿規程〉

「人体科学」投稿規程